

BNC コネクタ結線方法(作り方)

1.5D-2V (50Ω)

1.5C-2V (75Ω)

3D-2V (50Ω)

3C-2V (75Ω)

RG-58/U (50Ω)

RG-59/U (75Ω)

V-7022PG-09Tバルクヘッド (50Ω)

推奨圧着工具 HT-5050V1

BNC コネクタ結線方法(作り方) 1.5D-2V (50Ω)

電子部品販売 ISA Web

<http://www.isawebshop.jp/>

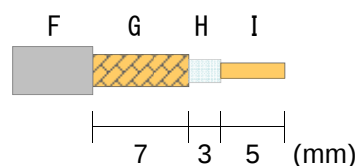
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … インシュレーター
C … スリーブ
D … フェルール
E … ボディ

被覆皮剥き寸法図



各部の名称

F … 外部被覆
G … 編組
H … 絶縁体
I … 内部導体



※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。この時、フェルールの方向に注意してください。
編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

フェルール部分の同軸ケーブル補強をする場合、熱収縮チューブ(シュリンクチューブ)を入れておきます。



- ② スリーブを編組と絶縁体の間に、インシュレーターを内部導体に挿入します。この時、スリーブと絶縁体の長さがほぼ一致するようにしてください。



- ③ コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。カシメ前に、インシュレーターとコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整して隙間が無いようにしてください。

カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。



- ④ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。



- ⑤ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

①で熱収縮チューブ(シュリンクチューブ)を入れている場合は、熱収縮させてフェルールと同軸ケーブル部分を補強してください。

BNC コネクタ結線方法(作り方) 1.5C-2V (75Ω)

電子部品販売 ISA Web

<http://www.isawebshop.jp/>

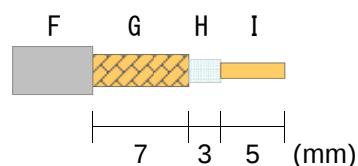
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … インシュレーター
C … スリーブ
D … フェルール
E … ボディ

被覆皮剥き寸法図



各部の名称

F … 外部被覆
G … 編組
H … 絶縁体
I … 内部導体



※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。この時、フェルールの方向に注意してください。
編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。



フェルール部分の同軸ケーブル補強をする場合、熱収縮チューブ(シュリンクチューブ)を入れておきます。



- ② スリーブを編組と絶縁体の間に、インシュレーターを内部導体に挿入します。この時、スリーブと絶縁体の長さがほぼ一致するようにしてください。

六角1.72mm近辺



- ③ コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。カシメ前に、インシュレーターとコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整して隙間が無いようにしてください。



カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。



- ④ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。

六角4.52mm近辺



- ⑤ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

①で熱収縮チューブ(シュリンクチューブ)を入れている場合は、熱収縮させてフェルールと同軸ケーブル部分を補強してください。

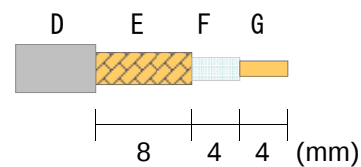
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … フェルール
C … ボディ

被覆皮剥き寸法図



各部の名称

D … 外部被覆
E … 編組
F … 絶縁体
G … 内部導体



※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。



- ② コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。カシメ前に、絶縁体とコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整してください。



カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。

六角1.72mm近辺



- ③ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。

六角5.41mm近辺



- ④ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

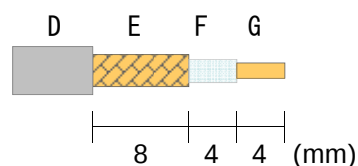
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … フェルール
C … ボディ

被覆皮剥き寸法図

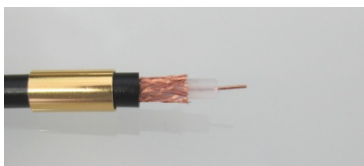


各部の名称

D … 外部被覆
E … 編組
F … 絶縁体
G … 内部導体

! ※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。



- ② コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。
カシメ前に、絶縁体とコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整してください。

六角1.72mm近辺

! カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。



- ③ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。



- ④ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。
編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

六角5.41mm近辺

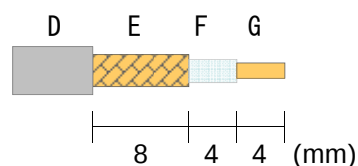
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … フェルール
C … ボディ

被覆皮剥き寸法図



各部の名称

D … 外部被覆
E … 編組
F … 絶縁体
G … 内部導体

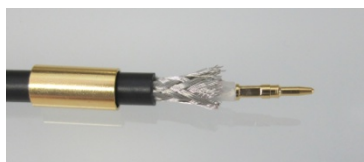
! ※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。(下記イメージ)



■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。



- ② コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。カシメ前に、絶縁体とコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整してください。

六角1.72mm近辺

! カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。



- ③ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。

六角5.41mm近辺



- ④ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

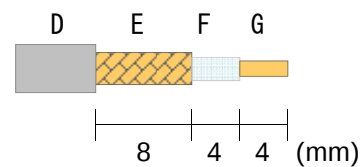
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … コンタクト
B … フェルール
C … ボディ

被覆皮剥き寸法図



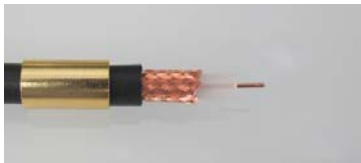
各部の名称

D … 外部被覆
E … 編組
F … 絶縁体
G … 内部導体



※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。



- ② コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。カシメ前に、絶縁体とコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整してください。



カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。

六角1.72mm近辺



- ③ ボディを挿入します。ボディ挿入時、カチンと音がして抜けなくなります。

六角6.50mm近辺



- ④ フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。

BNC コネクタ結線方法(作り方) V-7022PG-09Tバルクヘッド (50Ω)

電子部品販売 ISA Web
<http://www.isawebshop.jp/>

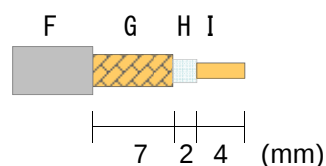
■ 部品の名称と被覆剥き寸法図



部品の名称

A … ボディ
B … コンタクト
C … フェルール
D … ワッシャー
E … ナット

被覆皮剥き寸法図



各部の名称

F … 外部被覆
G … 編組
H … 絶縁体
I … 内部導体



※ 編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

■ 結線方法

バルクヘッドBNCコネクタは、筐体等のパネルに取付るのが一般的です。
作り方の説明のため、便宜上ワッシャーおよびナットをケーブルに通して撮影していますが、実際の作成の際は、ボディ装着後に通してください。



- ① ケーブルにフェルールを挿入し、上記の「被覆皮剥き寸法図」のように剥きます。
編組を長めにしておき、フェルールをカシメる直前に切り落として調整する方法もお薦めします。

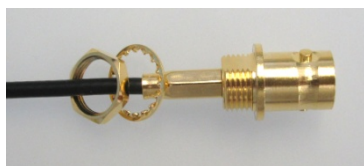


- ② コンタクトを挿入し、圧着工具でカシメます。
カシメ前に、絶縁体とコンタクトに隙間がある場合は、内部導体の長さを調整してください。

六角1.72mm近辺



カシメ前に、コンタクトを挿入した状態で、ボディを隣に置いてみて外部被覆の切り出し位置が正しいかどうか再度確認してください。



- ③ ボディを挿入します。ボディ内側の絶縁体の先端面とコンタクト先端面の位置が合うところで止まりますので、しっかり押し込んでください。

六角4.52mm近辺

フェルールを挿入し、圧着工具でカシメて完成です。
編組を長めにする方法の場合は、カシメ前に余分な編組を切り落としてください。